

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科

国語 科目 現代の国語

教科：国語

科目：現代の国語

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組～ F組

教科担当者：

使用教科書：（数研出版『現代の国語』）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力ようにする。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数	
		話・聞	書	読						
1 学期	1 要点をつかむ 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえて、正確さ、わかりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うこと。	・叙述を的確にとらえる。 ・具体と抽象を理解し、文章の要点を的確にまとめる。 【教材】 『水の東西』 『「動」への変化』	○	○	○		○	○	○	10
	2 意見を示す 「話すこと・聞くこと」において、論点を共有し、話合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話合いのしかたや結論の出し方を工夫すること。	・他者と意見を交流し、アイデアを出し合う。 ・アイデアを整理し、さらに発想を広げる。	○	○	○		○	○	○	
	3 的確に伝える 実用的な文章に興味を持ち、その意図や表現上の工夫をとらえたり、わかりやすく書いたりする学習に取り組むこと。	・話し言葉の特徴を知る。 ・相手に正確に伝わるようにわかりやすく書く。	○	○	○		○	○	○	10
	4 論理をとらえる 論理的文章を読むことに興味を持ち、論理関係を意識して読むこと。	・主張と根拠、理由付けの関係をとらえる。 【教材】 『動的平衡としての生物多様性』	○	○	○		○	○	○	
	定期考査						○	○		1
2 学期	5 資料を駆使する 情報の妥当性や信頼性の吟味のしかたについて理解を深め使うこと。	・資料と文章の関係に注意して、情報を読み取る。 【教材】 『「安くておいしい国」の限界』	○	○	○		○	○	○	10
	6 情報を比較する 複数の文章を比較して読むことに意欲をもち、共通点や相違点をとらえること。	・複数の文章を比較し、共通点や相違点をとらえる。 【教材】『「美しさの発見」について』	○	○	○		○	○	○	
	定期考査						○	○		1
	7 他者を動かす プレゼンテーションすることに意欲を持ち、聞き手の心を動かす話をしようとして工夫すること。	・聞き手の心を動かす話し方を工夫する。 ・資料にもとづいて、効果的に発表する。	○	○	○		○	○	○	10
	8 主張を吟味する 個別の情報と一般化された情報との関係について理解すること。	・文章中の根拠や引用に注目し、その妥当性や信頼性を吟味する。 【教材】『贅沢を取り戻す』	○	○	○		○	○	○	
定期考査						○	○		1	
3 学期	9 考えを発信する 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。	・目的に即して、文章から必要な情報を読み取る。 ・読み取った情報を活用する 【教材】 『白/作業ロボットの悲劇』 『言葉についての新しい認識』	○	○	○		○	○	○	12
	定期考査						○	○		1
									合計	57

教科：地理歴史 科目：地理総合

対象学年組：第1学年A組～F組

教科担当：

使用教科書：帝国書院 高等学校 新地理総合

教科 地理歴史科の目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

科目 地理総合の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に取り組む態度等】
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするこの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知	思	態	時数
<p>I 地図でとらえる現代世界</p> <p>(1)「知識及び技能」 現代世界の地域構成を示した様々な地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解すること。 日常生活の中で見られる様々な地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解すること。 現代世界の様々な地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けること。</p> <p>(2)「思考力・判断力・表現力等」 現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現すること。 地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現すること。</p> <p>(3)「主体的に取り組む態度等」 地図をもちいた現代社会の学習に主体的に関わり、見通しをもって学習し、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>	<p>①地図と地理情報システム</p> <ul style="list-style-type: none"> 地球上の位置と時差 地図の役割と種類 <p>②結び付きを深める現代世界</p> <ul style="list-style-type: none"> 現代世界の国家領域 グローバル化する世界 	<p>(1)「知識及び技能」 現代世界の地域構成を示した様々な地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解している。 日常生活の中で見られる様々な地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解している。 現代世界の様々な地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けている。</p> <p>(2)「思考力・判断力・表現力等」 現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現している。 地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>(3)「主体的に取り組む態度等」 地図をもちいた現代社会の学習に主体的に関わり、見通しをもって学習し、科学的に探究しようとしている。</p>	○			10
<p>II 国際理解と国際協力</p> <p>(1)「知識及び技能」 世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解すること。 世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解すること。 世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解すること。 世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取組や国際協力が必要であることなどについて理解すること。</p> <p>(2)「思考力・判断力・表現力等」 世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現すること。 世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現すること。</p> <p>(3)「主体的に取り組む態度等」 国際理解と国際協力の学習に主体的に関わり、見通しをもって学習し、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>	<p>③生活文化の多様性と国際理解</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活文化の多様性 世界の地形と人々の生活 世界の気候と人々の生活 世界の言語・宗教と人々の生活 歴史的背景と人々の生活 世界の産業と人々の生活 <p>④地球的課題と国際協力</p> <ul style="list-style-type: none"> 複雑に絡み合う地球的課題 地球環境問題 資源・エネルギー問題 人口問題 食糧問題 都市・居住問題 	<p>(1)「知識及び技能」 世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。 世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。 世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解している。 世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取組や国際協力が必要であることなどについて理解している。</p> <p>(2)「思考力・判断力・表現力等」 世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>(3)「主体的に取り組む態度等」 国際理解と国際協力の学習に主体的に関わり、見通しをもって学習し、科学的に探究しようとしている。</p>	○			10
<p>III 持続可能な地域づくりと私たち</p> <p>(1)「知識及び技能」 我が国をはじめ世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解すること。 様々な自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的スキルを身に付けること。 生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取組や探究する手法などについて理解すること。</p> <p>(2)「思考力・判断力・表現力等」 地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現すること。 生活圏の地理的な課題について、生活圏内や生活圏外との結び付き、地域の成り立ちや変容、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、課題解決に求められる取組などを多面的・多角的に考察、構想し、表現すること。</p> <p>(3)「主体的に取り組む態度等」 持続可能な地域づくりの学習に主体的に関わり、見通しをもって学習し、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>	<p>⑤自然環境と防災</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の自然環境 地震・津波と防災 火山災害と防災 気象災害と防災 自然災害への備え <p>⑥生活圏の調査と地域の展望</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活圏の調査と地域の展望 	<p>(1)「知識及び技能」 我が国をはじめ世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解している。 様々な自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的スキルを身に付けている。 生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取組や探究する手法などについて理解している。</p> <p>(2)「思考力・判断力・表現力等」 地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現している。 生活圏の地理的な課題について、生活圏内や生活圏外との結び付き、地域の成り立ちや変容、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、課題解決に求められる取組などを多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</p> <p>(3)「主体的に取り組む態度等」 持続可能な地域づくりの学習に主体的に関わり、見通しをもって学習し、科学的に探究しようとしている。</p>	○			10

教科：地理歴史 科目：歴史総合

対象学年組：第1学年A～F組

教科担当：(A～F組：)

使用教科書：山川出版 歴史総合—近代から現代へ—

教科 地理歴史科の目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

科目 歴史総合の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に取り組む態度等】
知識：近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその他の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。 技能：諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的に考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知	思	態	時数
<p>I 近代化と私たち</p> <p>(1)「知識及び技能」 18世紀のアジアや日本における生産と流通、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、18世紀のアジアの経済と社会を理解する。産業革命と交通・通信手段の革新、中国の開港と日本の開国などを基に、工業化と世界市場の形成を理解する。18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解する。列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解する。現代的な諸課題の形成に関わる近代化の歴史を理解する。</p> <p>(2)「思考力・判断力・表現力等」 18世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的に考察し表現すること。産業革命の影響、中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し表現すること。国民国家の形成の背景や影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し表現すること。帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し表現すること。</p> <p>(3)「主体的に取り組む態度等」 諸地域の近代化について主体的に関わり、見直しをもって学習に臨み、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>	<p>①結びつく世界</p> <p>②近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立</p> <p>③明治維新と日本の立憲体制</p> <p>④帝国主義の展開とアジア</p>	<p>(1)「知識及び技能」 18世紀のアジアや日本における生産と流通、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、18世紀のアジアの経済と社会を理解している。産業革命と交通・通信手段の革新、中国の開港と日本の開国などを基に、工業化と世界市場の形成を理解している。18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解している。列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解している。現代的な諸課題の形成に関わる近代化の歴史を理解している。</p> <p>(2)「思考力・判断力・表現力等」 18世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的に考察し表現している。産業革命の影響、中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し表現している。国民国家の形成の背景や影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し表現している。帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>(3)「主体的に取り組む態度等」 諸地域の近代化について主体的に関わり、見直しをもって学習し、科学的に探究しようとしている。</p>	○			6
<p>II 国際秩序の変化や大衆化と私たち</p> <p>(1)「知識及び技能」 第一次世界大戦の展開、日本やアジアの経済成長、ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解する。大衆の政治参加と女性の地位向上、大正デモクラシーと政党政治、大量消費社会と大衆文化、教育の普及とマスメディアの発達などを基に、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解する。世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策などを基に、国際協調体制の動揺を理解する。第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などを基に、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解する。現代的な諸課題の形成に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史を理解する。</p> <p>(2)「思考力・判断力・表現力等」 第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、日本の参戦の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第一次世界大戦の性格と惨禍、日本とアジア及び太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し表現すること。第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し表現すること。経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し表現すること。第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し表現すること。事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、主題について多面的・多角的に考察し表現すること。</p> <p>(3)「主体的に取り組む態度等」 国際秩序の変化や大衆化について主体的に関わり、見直しをもって学習し、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>	<p>⑤第一次世界大戦と大衆社会</p> <p>⑥経済危機と第二次世界大戦</p> <p>⑦戦後の国際秩序と日本の改革</p>	<p>(1)「知識及び技能」 第一次世界大戦の展開、日本やアジアの経済成長、ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解している。大衆の政治参加と女性の地位向上、大正デモクラシーと政党政治、大量消費社会と大衆文化、教育の普及とマスメディアの発達などを基に、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解している。世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策などを基に、国際協調体制の動揺を理解している。第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などを基に、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解している。現代的な諸課題の形成に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史を理解している。</p> <p>(2)「思考力・判断力・表現力等」 第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、日本の参戦の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第一次世界大戦の性格と惨禍、日本とアジア及び太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し表現している。第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し表現している。経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し表現している。第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し表現している。事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、主題について多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>(3)「主体的に取り組む態度等」 国際秩序の変化や大衆化について主体的に関わり、見直しをもって学習し、科学的に探究しようとしている。</p>	○			6
<p>III グローバル化と私たち</p> <p>(1)「知識及び技能」 脱植民地化とアジア・アフリカ諸国、冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理などを基に、国際政治の変容を理解する。西ヨーロッパや東南アジアの地域連携、計画経済とその波及、日本の高度経済成長などを基に、世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解する。石油危機、アジアの諸地域の経済発展、市場開放と経済の自由化、情報通信技術の発展などを基に、市場経済の変容と課題を理解する。冷戦の終結、民主化の進展、地域統合の拡大と変容、地域紛争の拡散とそれへの対応などを基に、冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解する。歴史的経緯を踏まえて、現代的な諸課題を理解する。</p> <p>(2)「思考力・判断力・表現力等」 地域紛争の背景や影響、冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察し表現すること。冷戦が各国経済に及ぼした影響、地域連携の背景と影響、日本の高度経済成長の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、冷戦下の世界経済や地域連携の特徴、経済成長による生活や社会の変容など多面的・多角的に考察し表現すること。アジアの諸地域の経済発展の背景、経済の自由化や技術革新の影響、資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し表現すること。冷戦の変容と終結の背景、民主化や地域統合の背景と影響、地域紛争の拡散の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し表現している。事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、日本とその他の国や地域の動向を比較し相互に関連付けたり、現代的な諸課題を展望したりするなどして、主題について多面的・多角的に考察、構想し表現すること。</p> <p>(3)「主体的に取り組む態度等」 グローバル化について、主体的に関わり、見直しをもって学習し、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>	<p>⑧冷戦と世界経済</p> <p>⑨グローバル化する世界</p> <p>⑩現代の課題</p>	<p>(1)「知識及び技能」 脱植民地化とアジア・アフリカ諸国、冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理などを基に、国際政治の変容を理解している。西ヨーロッパや東南アジアの地域連携、計画経済とその波及、日本の高度経済成長などを基に、世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解している。石油危機、アジアの諸地域の経済発展、市場開放と経済の自由化、情報通信技術の発展などを基に、市場経済の変容と課題を理解している。冷戦の終結、民主化の進展、地域統合の拡大と変容、地域紛争の拡散とそれへの対応などを基に、冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解している。歴史的経緯を踏まえて、現代的な諸課題を理解している。</p> <p>(2)「思考力・判断力・表現力等」 地域紛争の背景や影響、冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察し表現している。冷戦が各国経済に及ぼした影響、地域連携の背景と影響、日本の高度経済成長の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、冷戦下の世界経済や地域連携の特徴、経済成長による生活や社会の変容など多面的・多角的に考察し表現している。アジアの諸地域の経済発展の背景、経済の自由化や技術革新の影響、資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し表現している。冷戦の変容と終結の背景、民主化や地域統合の背景と影響、地域紛争の拡散の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し表現している。事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、日本とその他の国や地域の動向を比較し相互に関連付けたり、現代的な諸課題を展望したりするなどして、主題について多面的・多角的に考察、構想し表現している。</p> <p>(3)「主体的に取り組む態度等」 グローバル化について、主体的に関わり、見直しをもって学習し、科学的に探究しようとしている。</p>	○			6

年間授業計画

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 数学 科目 数学 I

教科： 数学 科目： 数学 I 単位数： 3 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ F 組

教科担当者：

使用教科書：（ 数研出版 NEXT 数学 I ）

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】数学における基本的な概念や、原理・法則を体系的に理解する

【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して事象を論理的に考察する力を養う

【学びに向かう力、人間性等】数学の良さを認識し積極的に数学を活用しようとする態度を養う

科目 数学 I の目標：

数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A 式の計算・実数 【知識及び技能】 式を扱うための基本的な用語や計算方法、数の体系について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 数や式を多面的に見たり、目的に応じた式の変形ができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい計算方法や因数分解の方法について、考察する。 既習事項と関連付けて、数の体系を整理し考察する。	・多項式の加法・減法・乗法 ・因数分解 ・実数 ・根号を含む式の計算	【知識・技能】 2次の乗法公式や因数分解の公式についての理解を深める。 実数について理解し、簡単な無理数の四則計算ができる。 【思考・判断・表現】 工夫することで式の展開を簡略化することができる。式によって適切な方法を判断して因数分解ができる。 実数を数直線上の点の座標として捉えることができる。絶対値を含む方程式や不等式を数直線上の距離の関係として捉えることができる。 場合分けをして絶対値を含む方程式や不等式を解くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 式変形の工夫について、その理由を振り返って考えたり、よりよい因数分解の方法について考察しようとする。	○	○	○	16
B 1次不等式 【知識及び技能】 不等式の解の意味や不等式の性質について理解する。 絶対値を含む方程式や不等式が解ける。 【思考力、判断力、表現力等】 不等式の性質をもとに1次不等式を解く方法を考察したり、具体的な事象についての問題解決に1次不等式を活用したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 現実の問題について、必要な条件を選んで数学化し、それを解決する。 また、得られた解を現実問題に当てはめ直し、それを考察する。	・1次不等式 ・絶対値を含む方程式・不等式	【知識・技能】 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、1次不等式の解を求めることができる。 【思考・判断・表現】 不等式の性質をもとに1次不等式を解く方法を考察する。 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、1次不等式を問題解決に活用する。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題を解決する際に、既に学習した計算方法と関連付けて、式と多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりする。	○	○	○	10
C 集合と命題 【知識及び技能】 集合と命題に関する基本的な概念や用語を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 命題に関する基本的な概念を用いて命題を証明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 集合や命題の概念を活用して事象を考察できる。	・集合と条件 ・命題と証明	【知識・技能】 集合と命題に関する基本的な概念を理解する。 【思考・判断・表現】 集合の考えを用いて論理的に考察し、簡単な命題を証明する。 【主体的に学習に取り組む態度】 集合や命題の概念を活用して事象を考察する。	○	○	○	10
D 2次関数とグラフ 【知識及び技能】 2次関数のグラフの特徴について理解し、2次関数のグラフがかけられる条件から2次関数を決定できる。 【思考力、判断力、表現力等】 2次関数の最大値・最小値をグラフ	・2次関数のグラフ ・2次関数の最大・最小 ・2次関数の決定 ※グラフの指導に1台端末を利用する	【知識・技能】 関数の定義を理解し、関数を式で表すことができる。 放物線の軸、頂点などについて理解し、2次関数のグラフをかくことができる。平方完成ができる。 2次関数の最大値・最小値を求めることがで				

	<p>を用いて求められる。それを様々な事象の考察に活用できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 数学の事象や日常生活の事象について、関数を用いて解決しようとする。</p>	<p>きる。</p> <p>グラフが通る3点がわかっている2次関数を求めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 放物線の平行移動について、頂点の移動に着目して考察できる。</p> <p>2次関数の軸、定義域と最大値・最小値の関係を正確に理解し、定義域や係数に文字を含む2次関数について、適切に場合分けして最大値・最小値を求めることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 数学の事象や日常生活の事象について、関数を用いて解決しようとする。</p>	○	○	○	16
2 学 期	<p>E 2次方程式と2次不等式</p> <p>【知識及び技能】 2次方程式、2次不等式が解ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 2次方程式や不等式の解について考察し、2次関数のグラフとx軸の交点と関連付けて考えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 数学の事象や日常生活の事象について、2次方程式・2次不等式を用いて解決しようとする。</p>	<p>・2次方程式 ・2次関数のグラフとx軸の位置関係 ・2次不等式</p> <p>【知識・技能】 2次方程式を解くことができる。</p> <p>2次関数のグラフとx軸との共有点の座標を求めることができる。共有点の個数について判別式を用いて考えることができる。</p> <p>2次の連立不等式を解くことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 2次方程式を、その都度適切な方法を判断して解くことができる。</p> <p>解がない場合などの特別な場合も含めて、2次関数のグラフを用いて2次不等式を解くことができることを理解し、その都度適切な方法を判断し、2次不等式を解くことができる。</p> <p>2次関数のグラフとx軸の共有点の位置についてグラフを利用して解決できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 2次方程式・2次不等式の解を考察するのに2次関数のグラフを積極的に利用しようとする。</p> <p>数学の事象や日常生活の事象について、2次不等式を用いて考察しようとする。</p>	○	○	○	15
	<p>F 三角比</p> <p>【知識及び技能】 三角比の意味、基本的な性質について理解する。正弦定理、余弦定理について理解し、それらを用いて三角形の辺や角、面積を求めることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 三角比を空間図形を含む様々な事象に活用できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 それぞれの定理や三角比の特徴の違いを考察しようとする。</p>	<p>・三角比 ・正弦定理・余弦定理 ・三角形の面積 ・空間図形への活用</p> <p>【知識・技能】 三角比の定義を理解し、三角比を用いた計量を行うことができる。</p> <p>正弦定理や余弦定理を適切に用いて、三角形の辺や角を求めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 具体的な事象における長さや角度について、三角比を用いて捉え、三角比の値から求めることができる。</p> <p>正弦定理、余弦定理のうち、適切なものを判断し、種々の量を求めることができる。</p> <p>三角比を活用して空間図形について考察できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 三角比の相互関係を、三角比の定義や三平方の定理などから導出しようとする。</p> <p>空間において実際に測れない長さなどを、三角比を活用して求めようとする。</p>	○	○	○	24
3 学 期	<p>G データの分析</p> <p>【知識及び技能】 統計の基本的な考えや種々の統計量、データの散らばりや相関を表す量について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 統計の基本的な考え、種々の統計量、データの散らばりや相関を表す量を用いてデータを分析し、様々な判断ができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 範囲や四分位範囲、分散や標準偏差についてそれぞれの長所や短所を理解し、適切な指標を用いてデータの散らばりの度合いを判断しようとする。</p> <p>変数の変換によって平均値や分散がどのように変わるか考察しようとする。</p>	<p>・データの整理・代表値 ・データの散らばりと四分位数 ・分散と標準偏差 ・相関係数 ・データの分析を活用した問題解決 ※データの分析の指導に1台端末を利用する</p> <p>【知識・技能】 データの代表値、四分位数などを求めることができ、箱ひげ図を描くことができる。</p> <p>分散、標準偏差を求めることができる。</p> <p>相関係数を求めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 データの分布の仕方やデータの用途によって適切な代表値が異なることを理解し、適切な代表値を選ぶことができる。</p> <p>データの散らばりの度合いを、範囲・四分位範囲・分散や標準偏差を用いて判断できる。</p> <p>データを分析することで問題を解決し、その結論および過程について表現することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 範囲や四分位範囲、分散や標準偏差についてそれぞれの長所や短所を理解し、適切な指標を用いてデータの散らばりの度合いを判断しようとする。</p> <p>変数の変換によって平均値や分散がどのように変わるか考察しようとする。</p>	○	○	○	14

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 数学 科目 数学A

教科： 数学 科目： 数学A 単位数： 2 単位
 対象学年組： 第 1 学年 A組～ F組
 教科担当者：
 使用教科書：（ 数研出版 NEXT 数学A ）

- 教科 数学 の目標：
 【知識及び技能】 数学における基本的な概念や、原理・法則を体系的に理解する
 【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力を養う
 【学びに向かう力、人間性等】 数学の良さを認識し積極的に数学を活用しようとする態度を養う

科目 数学A の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見いだし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見いだし、数理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
<p>A集合</p> <p>【知識及び技能】 集合に関する基本的な概念や用語を理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 1つの集合を複数の表し方で表現できるようにする。集合の包含関係を記号で正しく表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 3つ以上の集合についても、考察できるようにする。</p> <p>B 順列 組合せ</p> <p>【知識及び技能】 和の法則、積の法則の利用場面を理解し、事象に応じて使い分けて場合の数を求めることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 樹形図を用いて、場合の数をもれなくかつ重複なく数えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 場合の数の基本的な考え方を理解し、それを事象の考察に活用できるような態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・集合 ・倍数の個数 ・樹形図 ・和の法則、積の法則 	<p>【知識・技能】 集合に関する基本的な用語や集合の要素の表し方を理解している。 和の法則、積の法則の利用場面を理解し、事象に応じて使い分けて場合の数を求めることができる。 【思考・判断・表現】 1つの集合を複数の表し方で表現することができる。 集合の包含関係を記号や日本語で正しく表現できる。 樹形図を用いて、場合の数をもれなくかつ重複なく数えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 3つ以上の集合についても共通部分や和集合について考察しようとする。 場合の数の基本的な考え方を理解し、それを事象の考察に活用できる。</p>	○	○	○	8
<p>C 順列 組合せ</p> <p>【知識及び技能】 順列の総数、階乗を記号で表し、それを活用できるようにする。組合せの総数を記号で表し、それを活用できるようにする。順列、組合せの総数を考察できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 条件が付く事象を、見方を変えたり別なものに対応させたりして処理できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 順列 組合せの基本的な考え方を理解し、それを事象の考察に活用できるような態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・順列の考え方の利用 ・組合せの考え方の利用 	<p>【知識・技能】 順列の総数、階乗を記号で表し、それを活用できるようにする。組合せの総数を記号で表し、それを活用できるようにする。順列、組合せの総数を考察できる。 【思考・判断・表現】 樹形図を用いて、場合の数をもれなくかつ重複なく数えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 順列 組合せの基本的な考え方を理解し、それを事象の考察に活用できる。</p>	○	○	○	8
<p>D確率</p> <p>【知識及び技能】 確率の定義から、その求め方が分かるようにする。独立試行、反復試行を、具体的な例から直観的にかんがえられるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 試行の結果を集合と結びつけて、事柄の起こりやすさを数量的にとらえられるようにする。条件付き確率の乗法定理の考えを積極的に活用させる。 【学びに向かう力、人間性等】 学んだ内容に関する課題について、主体的に学習し、数学の良さを探究する態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・同様に確からしいときの確率 ・独立な試行の確率 ・条件付き確率 ・確率の乗法定理 	<p>【知識・技能】 確率の定義から、その求め方が分かるようにする。独立試行、反復試行を、具体的な例から直観的に考えられる。 【思考・判断・表現】 試行の結果を集合と結びつけて、事柄の起こりやすさを数量的にとらえられるようにする。条件付き確率の乗法定理の考えを積極的に活用させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 学んだ内容に関する課題について、主体的に学習し、数学の良さを探究できる。</p>	○	○	○	8

2 学 期	<p>A 約数と倍数</p> <p>【知識及び技能】 約数・倍数の意味を理解させる。倍数の判定法を理解させる。2数の最小公倍数は2数の素因数のすべてを因数とすることを理解させ、それを利用して問題を考察できるようにする</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 平方数になる条件を、素因数分解の結果から考察できるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 整数の整数の性質についての理解を深め、それを事象の考察に活用しようとする態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 約数と倍数 倍数の判定 最大公約数・最小公倍数 素因数分解 	<p>【知識・技能】 約数・倍数の意味を理解している。倍数の判定法を理解している。2数の最小公倍数は2数の素因数のすべてを因数とすることを理解し、それを利用して問題を考察できる</p> <p>【思考・判断・表現】 平方数になる条件を、素因数分解の結果から考察できる</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 整数の整数の性質についての理解を深め、それを事象の考察に活用しようとする</p>	○	○	○	13
	<p>Bユークリッドの互除法</p> <p>【知識及び技能】 互除法の原理を理解させ、互除法を用いて2数の最大公約数を求められるようにする。1次不定方程式、整数解の意味を理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 互除法の計算から最大公約数を表す式が導かれることを具体例から考察できるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 整数の整数の性質についての理解を深め、それを事象の考察に活用しようとする態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ユークリッドの互除法 互除法の活用 一次不定方程式 	<p>【知識・技能】 互除法の原理を理解させ、互除法を用いて2数の最大公約数を求められる。1次不定方程式、整数解の意味を理解して</p> <p>【思考・判断・表現】 互除法の計算から最大公約数を表す式が導かれることを具体例から考察できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 整数の整数の性質についての理解を深め、それを事象の考察に活用しようとしている</p>	○	○	○	7
	<p>C 整数の性質の活用</p> <p>【知識及び技能】 循環小数を表す記号を用いて、分数を循環小数で表現できるようにさせる。位取り記数法、10進法、2進法、n進法について理解させる。10進法の整数をn進法で表せるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 分数が整数、有限小数、循環小数のいずれかで表される理由を理解させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 整数の整数の性質についての理解を深め、それを事象の考察に活用しようとする態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 分数と有限小数、循環小数の割り算のしくみ n進法 底の変換 n進法の小数 	<p>【知識・技能】 循環小数を表す記号を用いて、分数を循環小数で表現できる。位取り記数法、10進法、2進法、n進法について理解して。10進法の整数をn進法で表せる。</p> <p>【思考・判断・表現】 分数が整数、有限小数、循環小数のいずれかで表される理由を理解して</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 整数の整数の性質についての理解を深め、それを事象の考察に活用しようとしている</p>	○	○	○	5

3 学 期	<p>A 平面図形</p> <p>【知識及び技能】 線分の内分、外分の基本を理解させる。三角形の外心・内心・重心の定義、性質を理解させる。チェバの定理、メネラウスの定理を理解させる。円周角の定理を理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 図形の性質を証明するのに、既習事項を用いて論理的に考察できるようにする。円と接線と弦の作る角について、場合分けをしながら考察できるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 平面図形の性質についての理解を深め、それを事象の考察に活用する態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・三角形の外心 ・三角形の内心 ・三角形の重心 ・チェバの定理 ・メネラウスの定理 ・円周角の定理 ・円の接線と弦の作る角 	<p>【知識・技能】 線分の内分、外分の基本を理解している。三角形の外心・内心・重心の定義、性質を理解している。チェバの定理、メネラウスの定理を理解している。円周角の定理を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 図形の性質を証明するのに、既習事項を用いて論理的に考察できる。円と接線と弦の作る角について、場合分けをしながら考察できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 平面図形の性質についての理解を深め、それを事象の考察に活用することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 平面図形の性質についての理解を深め、それを事象の考察に活用しようとしている。</p>	○	○	○	18
	<p>B 空間図形</p> <p>【知識及び技能】 空間における2直線の位置関係やなす角を理解させる。正多面体の満たす条件を理解し、正多面体から切り取った立体がまた正多面体であることを示すことができるようにする</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 空間における直線や平面が平行または垂直となるかどうかを、与えられた条件から考察できるようにする</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 空間図形の性質についての理解を深め、それを事象の考察に活用する態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2直線の位置関係 ・直線と平面の位置関係 ・2平面の位置関係 ・正多面体から切り取った立体 	<p>【知識・技能】 空間における2直線の位置関係やなす角を理解させる。正多面体の満たす条件を理解し、正多面体から切り取った立体がまた正多面体であることを示すことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 空間における直線や平面が平行または垂直となるかどうかを、与えられた条件から考察できる</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 空間図形の性質についての理解を深め、それを事象の考察に活用しようとしている。</p>	○	○	○	7

教科 : 理科 科目 : 化学基礎

対象学年組 : 第1学年A組~F組

教科担当 :

使用教科書 : 啓林館 i版 化学基礎

教科 理科の目標

【知識及び技能】 自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 生物基礎の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けるようにする。	物質とその変化から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究する力を養う。	物質とその変化に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知	思	態	配当 時数
A 化学と人間生活・物質の構成(物質の成分と構成元素) (1)「知識及び技能」 化学と人間生活、化学の特徴、物質の分離・精製について基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けること。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 物質の分離や精製、元素の確認について、観察、実験などを通して探究し、物質を対象とする科学である化学の特徴を見いだして表現すること。 (3)「学びに向かう力、人間性等」 化学と人間生活、物質の構成に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養う。	・人間生活のなかの化学 ・化学とその役割 ・物質の成分 ・物質の構成元素 ・物質の三態	(1)「知識及び技能」 化学と人間生活、化学の特徴、物質の分離・精製について基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 物質の分離や精製、元素の確認について、観察、実験などを通して探究し、物質を対象とする科学である化学の特徴を見いだして表現している。 (3)「学びに向かう力、人間性等」 化学と人間生活、物質の構成に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	2 1
						4 3
						3
B 物質の構成(原子の構造と元素の周期表・化学結合) (1)「知識及び技能」 原子の構造、電子配置と周期表、物質と化学結合の基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けること。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 物質の構成粒子、物質と化学結合について、観察、実験などを通して探究し、多様な生物がもつ共通の特徴を見いだして表現すること。 (3)「学びに向かう力、人間性等」 物質の構成に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養う。	・原子の構造 ・電子配置と周期表 ・イオンとイオン結合 ・分子と共有結合 ・金属と金属結合 ・物質の分類	(1)「知識及び技能」 原子の構造、電子配置と周期表、物質と化学結合の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 物質の構成粒子、物質と化学結合について、観察、実験などを通して探究し、多様な生物がもつ共通の特徴を見いだして表現している。 (3)「学びに向かう力、人間性等」 物質の構成に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	3 3
						2 2 2
						3
C 物質の変化(物質と化学反応式) (1)「知識及び技能」 物質と化学反応式の基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けること。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 化学反応について、観察、実験などを通して探究し、物質の構成における規則性や関係性の特徴を見いだして表現すること。 (3)「学びに向かう力、人間性等」 物質と化学反応式に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養う。	・原子量・分子量・式量 ・物質質量 ・溶液の濃度 ・化学反応式とその量的関係	(1)「知識及び技能」 物質と化学反応式の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 化学反応について、観察、実験などを通して探究し、物質の構成における規則性や関係性の特徴を見いだして表現している。 (3)「学びに向かう力、人間性等」 物質と化学反応式に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	2 3
						3
						3
D 物質の変化(酸と塩基・酸化還元反応) (1)「知識及び技能」 物質の変化とその利用についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けること。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 酸や塩基について、観察、実験などを通して探究し、酸と塩基の性質及び中和反応に関する物質とその量的関係、物質の変化における規則性や関係性の特徴を見いだして表現すること。 (3)「学びに向かう力、人間性等」 物質の変化とその利用に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養う。	・酸と塩基 ・水素イオン濃度とpH ・中和反応と塩の生成 ・中和滴定 ・酸化と還元 ・酸化剤と還元剤 ・金属の酸化還元反応 ・酸化還元反応の応用	(1)「知識及び技能」 物質の変化とその利用についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 酸や塩基について、観察、実験などを通して探究し、酸と塩基の性質及び中和反応に関する物質とその量的関係、物質の変化における規則性や関係性の特徴を見いだして表現している。 (3)「学びに向かう力、人間性等」 物質の変化とその利用に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	2
						4
						2 2 2 2

教科 : 理科 科目 : 生物基礎

対象学年組 : 第1学年A組~F組

教科担当 :

使用教科書 : 数研出版 高等学校 生物基礎

教科 理科の目標

【知識及び技能】 自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などをを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 生物基礎の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けるようにする。	生物や生物現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などをを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究する力を養う。	生物や生物現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知	思	態	配当 時数
A 生物の特徴 (1)「知識及び技能」 生物の特徴について、生物の共通性と多様性、生物とエネルギーの基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けること。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 生物の特徴について、観察、実験などを通して探究し、多様な生物がもつ共通の特徴を見いだして表現すること。 (3)「学びに向かう力、人間性等」 生物の特徴に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養う。	<ul style="list-style-type: none"> ・生物の多様性・共通性とその由来、細胞の構造、原核生物と真核生物 ・細胞分裂と遺伝情報の分配 ・生命活動とエネルギー ・代謝と酵素 ・光合成と呼吸 	(1)「知識及び技能」 生物の特徴について、生物の共通性と多様性、生物のエネルギーの基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 生物の特徴について、観察、実験などを通して探究し、多様な生物がもつ共通の特徴を見いだして表現している。 (3)「学びに向かう力、人間性等」 生物の特徴に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	6
			○	○	○	3
			○	○	○	1 3
B 遺伝子とそのはたらき (1)「知識及び技能」 遺伝子とそのはたらきについて、遺伝情報とDNA、遺伝情報とタンパク質合成の基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けること。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 遺伝子とそのはたらきについて、観察、実験などを通して探究し、多様な生物がもつ共通の特徴を見いだして表現すること。 (3)「学びに向かう力、人間性等」 遺伝子とそのはたらきに主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養う。	<ul style="list-style-type: none"> ・遺伝情報とDNA、DNAの構造、DNAの複製 ・遺伝情報とタンパク質、タンパク質の合成(転写・翻訳) ・突然変異 	(1)「知識及び技能」 遺伝子とそのはたらきについて、遺伝情報とDNA、遺伝情報とタンパク質合成の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 遺伝子とそのはたらきについて、観察、実験などを通して探究し、多様な生物がもつ共通の特徴を見いだして表現している。 (3)「学びに向かう力、人間性等」 遺伝子とそのはたらきに主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	4
			○	○	○	3
			○	○	○	1
C ヒトの体の調節 (1)「知識及び技能」 ヒトの体の調節について、神経系と内分泌系による調節、免疫の基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けること。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 ヒトの体の調節について、観察、実験などを通して探究し、神経系と内分泌系による調節及び免疫などの特徴を見いだして表現すること。 (3)「学びに向かう力、人間性等」 ヒトの体の調節に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養う。	<ul style="list-style-type: none"> ・恒常性と体液 ・自律神経系による調節 ・内分泌系による調節 ・自律神経系と内分泌系による協調 ・生体防御の概要 ・自然免疫のしくみ ・獲得免疫のしくみ ・免疫と病気 	(1)「知識及び技能」 ヒトの体の調節について、神経系と内分泌系による調節、免疫の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 ヒトの体の調節について、観察、実験などを通して探究し、神経系と内分泌系による調節及び免疫などの特徴を見いだして表現している。 (3)「学びに向かう力、人間性等」 ヒトの体の調節に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	2
			○	○	○	2 4
			○	○	○	1 2 1
D 生物の多様性と生態系 (1)「知識及び技能」 生物の多様性と生態系について、植生と遷移、生態系とその保全の基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けること。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 生物の多様性と生態系について、観察、実験などを通して探究し、生態系における、生物の多様性及び生物と環境の関係性を見いだして表現すること。 (3)「学びに向かう力、人間性等」 生物の多様性と生態系に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養う。	<ul style="list-style-type: none"> ・植生とその構造 ・植生の遷移 ・遷移とバイオーム ・生態系の成り立ち、生物どうしのつながり(食物連鎖、生態ピラミッド) ・種の多様性とその維持 ・生態系のバランス ・人間活動と生態系 	(1)「知識及び技能」 生物の多様性と生態系について、植生と遷移、生態系とその保全の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 生物の多様性と生態系について、観察、実験などを通して探究し、生態系における、生物の多様性及び生物と環境の関係性を見いだして表現している。 (3)「学びに向かう力、人間性等」 生物の多様性と生態系に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	3
			○	○	○	2
			○	○	○	2 2
○	○	○	1 4			

教科：保健体育 科目：体育

対象学年組：第1学年A組～F組

教科担当：

使用教科書：新高等保健体育(大修館書店)

教科 保健体育の目標

【知識及び技能】 各種目の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知	思	態	配時 時数
A 体づくり運動 (1)「知識及び技能」 運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解できるようにする。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 (3)「学びに向かう力、人間性等」 体づくり運動、縄跳びに自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、話し合いに貢献しようとするなどをしたり、健康・安全を確保することができるようにする。	・縄跳び ・体ほぐしの運動 ・体力を高める運動	(1)「知識及び技能」 運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解している。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 (3)「学びに向かう力、人間性等」 体づくり運動、縄跳びに自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、話し合いに貢献しようとするなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	12
B 陸上競技 (1)「知識及び技能」 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解できるようにする。長距離走では自己に適したペースを維持して走ることができるようにする。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 (3)「学びに向かう力、人間性等」 長距離走に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどをしたり、健康・安全を確保することができるようにする。	・時間走と距離走のタイムトライアル	(1)「知識及び技能」 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。長距離走では自己に適したペースを維持して走ることができる。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 (3)「学びに向かう力、人間性等」 長距離走に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	12
C 水泳 (1)「知識及び技能」 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などについて理解できるようにする。手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができるようにする。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 (3)「学びに向かう力、人間性等」 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどをしたり、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保することができるようにする。	・泳法指導 ・クロール ・平泳ぎ ・背泳ぎ	(1)「知識及び技能」 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などについて理解している。手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができる。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 (3)「学びに向かう力、人間性等」 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどをしたり、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	10
D 球技【サッカー】 (1)「知識及び技能」 状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などの攻防をすることができるようにする。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 (3)「学びに向かう力、人間性等」 サッカーに自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	・基礎練習 (パス・ドリブル・シュート) ・応用練習 (3対3・4対4) ・試合 ・ゲーム及びルールと審判法の理解	(1)「知識及び技能」 状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などの攻防をすることができる。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 (3)「学びに向かう力、人間性等」 サッカーに自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	12
E 球技【バレーボール】 (1)「知識及び技能」 技術の名称や行い方、体力の高め方運動観察の方法などについて理解できるようにする。状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができるようにする。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 (3)「学びに向かう力、人間性等」 バレーボールに自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	・基本練習 (パス・レシーブ・サーブ) ・応用練習 (トス・スパイク) ・試合 ・ゲーム及びルールと審判法の理解	(1)「知識及び技能」 技術の名称や行い方、体力の高め方運動観察の方法などについて理解している。状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 (3)「学びに向かう力、人間性等」 バレーボールに自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	12
F 球技【ソフトボール】 (1)「知識及び技能」 状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防をすることができるようにする。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 (3)「学びに向かう力、人間性等」 ソフトボールに自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	・基礎練習 (キャッチボール・トスバットティング) ・応用練習 (ピッチング・バットティング・走塁と守備の連携) ・試合 ・ゲーム及びルールと審判法の理解	(1)「知識及び技能」 状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防をすることができる。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 (3)「学びに向かう力、人間性等」 ソフトボールに自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	12
G 武道【柔道】 (1)「知識及び技能」 伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方などについて理解できるようにする。相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技、連続技を用いて相手を崩して投げたり、抑えたりするなどの攻防をすることができるようにする。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 攻防などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 (3)「学びに向かう力、人間性等」 柔道に自主的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどをしたり、健康・安全を確保することができるようにする。	・基本練習と基本動作 ・受け身の基本 (前受身・後受身・横受身・前回り受身) ・投げ・寝技・乱取り ・試合 ・ゲーム及びルールと審判法の理解	(1)「知識及び技能」 伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方などについて理解している。相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技、連続技を用いて相手を崩して投げたり、抑えたりするなどの攻防をすることができる。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 攻防などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 (3)「学びに向かう力、人間性等」 柔道に自主的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	35
H ダンス (1)「知識及び技能」 ダンスの名称や用語、踊りの特徴と表現の仕方、交流や発表の仕方、運動観察の方法、体力の高め方などについて理解できるようにする。創作ダンスでは、表したいテーマにふさわしいイメージを捉え、個や群で緩急強弱のある動きや空間の使い方で変化を付けて即興的に表現したり、イメージを強調した作品にまとめたりして踊ることができるようにする。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 表現などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 (3)「学びに向かう力、人間性等」 ダンスに自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、作品や発表などの話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとするなどをしたり、健康・安全を確保することができるようにする。	・リズムカルな動きの基礎 ・グループ創作と発表	(1)「知識及び技能」 ダンスの名称や用語、踊りの特徴と表現の仕方、交流や発表の仕方、運動観察の方法、体力の高め方などについて理解している。創作ダンスでは、表したいテーマにふさわしいイメージを捉え、個や群で緩急強弱のある動きや空間の使い方で変化を付けて即興的に表現したり、イメージを強調した作品にまとめたりして踊ることができる。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 表現などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 (3)「学びに向かう力、人間性等」 ダンスに自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、作品や発表などの話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとするなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	合計 105

教科 : 保健体育 科目 : 保健

対象学年組 : 第1学年A組～F組

教科担当 :

使用教科書 : 新高等保健体育(大修館書店)

教科 保健体育の目標

- 【知識及び技能】 各種目の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 保健の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知	思	態	配 当 時 数
A 現代社会と健康【健康の考え方】 (1)「知識及び技能」 国民の健康課題や健康の考え方は、国民の健康水準の向上や疾病構造の変化に伴って変わってきていること。また健康は様々な要因の影響を受けながら、主体と環境の相互作用の下に成り立っていることを理解できるようにする。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現することができるようにする。 (3)「学びに向かう力、人間性等」 健康を大切にし、自他の健康の保持増進や健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組むことができるようにする。	・健康課題の変遷 ・健康の考え方と成り立ち ・ヘルスプロモーションと健康に関わる環境づくり ・健康に関する意思決定・行動選択	(1)「知識及び技能」 国民の健康課題や健康の考え方は、国民の健康水準の向上や疾病構造の変化に伴って変わってきていること。また健康は様々な要因の影響を受けながら、主体と環境の相互作用の下に成り立っていることについて理解している。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現している。 (3)「学びに向かう力、人間性等」 健康を大切にし、自他の健康の保持増進や健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	6
B 現代社会と健康【現代の感染症とその予防】 (1)「知識及び技能」 感染症の発生や流行には、時代や地域によって違いがみられること。その予防には、個人の取組及び社会的な対策を行う必要があることを理解できるようにする。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現することができるようにする。 (3)「学びに向かう力、人間性等」 健康を大切にし、自他の健康の保持増進や健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組むことができるようにする。	・現代における感染症の問題 ・感染症の予防 ・性感染症・エイズとその予防	(1)「知識及び技能」 感染症の発生や流行には、時代や地域によって違いがみられること。その予防には、個人の取組及び社会的な対策を行う必要があることについて理解している。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現している。 (3)「学びに向かう力、人間性等」 健康を大切にし、自他の健康の保持増進や健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	5
C 現代社会と健康【生活習慣病などの予防と回復】 (1)「知識及び技能」 健康の保持増進と生活習慣病などの予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活の実践や疾病の早期発見、及び社会的な対策が必要であることを理解できるようにする。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現することができるようにする。 (3)「学びに向かう力、人間性等」 健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組むことができるようにする。	・生活習慣病の予防と回復 ・身体活動・運動と健康 ・食事と健康 ・休養・睡眠と健康	(1)「知識及び技能」 健康の保持増進と生活習慣病などの予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活の実践や疾病の早期発見、及び社会的な対策が必要であることについて理解している。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現している。 (3)「学びに向かう力、人間性等」 健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	6
D 現代社会と健康【喫煙、飲酒、薬物乱用と健康】 (1)「知識及び技能」 喫煙と飲酒は、生活習慣病などの要因になること。また、薬物乱用は、心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行ってはならないこと。それらの対策には、個人や社会環境への対策が必要であることを理解できるようにする。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現することができるようにする。 (3)「学びに向かう力、人間性等」 健康を大切にし、自他の健康の保持増進や健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組むことができるようにする。	・喫煙と健康 ・飲酒と健康 ・薬物乱用と健康	(1)「知識及び技能」 喫煙と飲酒は、生活習慣病などの要因になること。また、薬物乱用は、心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行ってはならないこと。それらの対策には、個人や社会環境への対策が必要であることについて理解している。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現している。 (3)「学びに向かう力、人間性等」 健康を大切にし、自他の健康の保持増進や健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	5
E 現代社会と健康【精神疾患の予防と回復】 (1)「知識及び技能」 精神疾患の予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践するとともに、心身の不調に気付くことが重要であること。また、疾病の早期発見及び社会的な対策が必要であることを理解できるようにする。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現することができるようにする。 (3)「学びに向かう力、人間性等」 健康を大切にし、自他の健康の保持増進や精神疾患の予防と回復及び健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組むことができるようにする。	・精神疾患と健康 ・精神疾患の特徴 ・精神疾患の対応	(1)「知識及び技能」 精神疾患の予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践するとともに、心身の不調に気付くことが重要であること。また、疾病の早期発見及び社会的な対策が必要であることについて理解している。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現している。 (3)「学びに向かう力、人間性等」 健康を大切にし、自他の健康の保持増進や精神疾患の予防と回復及び健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	5
D 安全な社会生活【安全な社会づくり】 (1)「知識及び技能」 安全な社会づくりには、環境の整備とそれに応じた個人の取り組みが必要であること。また交通事故を防止するには、車両の特性の理解、安全な運転や歩行など適切な行動、自他の生命を尊重する態度、交通環境の整備が関わること。交通事故には補償をはじめとした責任が生じることを理解できるようにする。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現することができるようにする。 (3)「学びに向かう力、人間性等」 健康を大切にし、自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりについての学習に主体的に取り組むことができるようにする。	・事故の現状と発生要因 ・交通事故防止の取り組み ・安全な社会の形成	(1)「知識及び技能」 安全な社会づくりには、環境の整備とそれに応じた個人の取り組みが必要であること。また交通事故を防止するには、車両の特性の理解、安全な運転や歩行など適切な行動、自他の生命を尊重する態度、交通環境の整備が関わること。交通事故には補償をはじめとした責任が生じることについて理解している。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考えているとともに、考えたことを表現している。 (3)「学びに向かう力、人間性等」 健康を大切にし、自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
E 安全な社会生活【応急手当】 (1)「知識及び技能」 適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を軽減できること。応急手当には、正しい手順や方法があること。また、応急手当は傷害や疾病によって身体が時間の経過とともに損なわれていく場合があることから、速やかに行う必要があることを理解できるようにする。心肺蘇生法などの応急手当を適切に行うことができるようにする。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現することができるようにする。 (3)「学びに向かう力、人間性等」 健康を大切にし、自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりについての学習に主体的に取り組むことができるようにする。	応急手当の意義と救急医療体制 ・心肺蘇生法 ・日常的な応急手当	(1)「知識及び技能」 適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を軽減できること。応急手当には、正しい手順や方法があること。また、応急手当は傷害や疾病によって身体が時間の経過とともに損なわれていく場合があることから、速やかに行う必要があることについて理解しているとともに、心肺蘇生法などの応急手当の技能を身につけている。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考えているとともに、それらを表現している。 (3)「学びに向かう力、人間性等」 健康を大切にし、自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
						合計
						35

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 芸術 科目 音楽 I

教科：芸術

科目：音楽 I

単位数：

単位 2

対象学年組：第 1 学年 A 組～ F 組

教科担当者：

使用教科書：（MOUSA1（教育芸術社））

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽 I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性などについて理解を深める。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知識し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもち、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴く。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を感る豊かなものにしていく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
		歌	器	創						
1 学 期	「正しい発声を身に付けて、豊かな響きで歌おう」 歌うときの基本的な姿勢や呼吸、発声などの技能を身に付け、歌詞の内容を理解し、自己のイメージをもって曲想にふさわしい発声で表現を工夫して歌う。 バランスのよい姿勢、呼吸の仕方、声の響かせ方を身につけ、曲想と歌詞との関わり、旋律の特徴、言葉の抑揚を理解し、自己のイメージをもって表現を創意工夫して歌う。	「歌歌」 「唄けないで」 「Lesson」 「手紙」 など 一人一台端末を活用	○		○	【知識及び技能】 曲想と歌詞との関わりについて理解している。 創意工夫を生かした歌唱表現するために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の内い方法などの技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 音色、旋律を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもち、 【学びに向かう力、人間性等】 正しい発声を身に付けて表現を創意工夫することに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	「表現を工夫してギターを演奏しよう」 ギターの奏法を身に付けるとともに、曲想と楽器の音色や奏法との関わりを理解し、表現を工夫して演奏する	ギター基本的奏法、コード指板、「ハッピーバースデー トゥーユー」 「日曜日の使者」ほか 曲にふさわしい奏法、身体の内い方法などに留意して演奏し、演奏したり互いに聴き合ったりしながら、曲想と楽器の音色や奏法との関わりを理解させる。 イメージをもって、音楽を形づくっている要素の働きや奏法などを執行錯誤しながら表現を工夫させる。一人一台端末を活用。		○	○	【知識及び技能】 曲想とギターの音色や奏法との関わりについて理解している。 創意工夫を生かした楽器表現するために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の内い方法などの技能を身に付け、楽器で表している。 【思考力、判断力、表現力等】 音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもち、 【学びに向かう力、人間性等】 曲想とギターの音色や奏法との関わりに関心をもち、主体それぞれの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わり、協働的に楽器の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	「J-POPや歌謡曲の特徴を理解し鑑賞しよう」 J-POPや歌謡曲を取り上げ、曲想と音楽の構造や歌詞との関わりを理解し、自分や社会と音楽との関わりを考える	「私の音楽」 毎時間、2曲ずつ生徒が選曲した楽曲を鑑賞し、曲について調べたり意見を交換したりして曲想と音楽の構造や歌詞、文化的背景との関わりを理解するとともに、自分や社会にとっての音楽の意味や価値を考察させる。 イメージをもって、音楽を形づくっている要素の働きや奏法などを感知させる。一人一台端末を活用			○	【知識及び技能】 音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自分や社会にとっての音楽の意味や価値について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 【学びに向かう力、人間性等】 さまざまな音や音楽に関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	2
	「表現を工夫して鍵盤楽器を演奏しよう」 ピアノのコード伴奏奏法を身に付けるとともに、曲想と楽器の音色や奏法との関わりを理解し、表現を工夫して演奏する	コード伴奏奏法指板、「日曜日の使者」ほか 曲にふさわしい奏法、身体の内い方法などに留意して演奏し、演奏に必要な技能を身に付けさせる。 演奏したり互いに聴き合ったりしながら、曲想と楽器の音色や奏法との関わりを理解させる。 イメージをもって、音楽を形づくっている要素の働きや奏法などを執行錯誤しながら表現を工夫させる。一人一台端末を活用。		○		【知識及び技能】 文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 【学びに向かう力、人間性等】 さまざまな音や音楽に関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	「表現を工夫して合唱をしよう」 バランスのよい姿勢、呼吸の仕方、声の響かせ方を身につけ、曲想と歌詞との関わり、旋律の特徴、言葉の抑揚を理解し、自己のイメージをもって表現を創意工夫して歌う。	合唱アカペラ楽曲（3部または4部アカペラ） 曲にふさわしい発声方法を身に付けて、互いの声部を聴かせながら、一人一台端末を活用	○			【知識及び技能】 曲想と歌詞との関わりについて理解している。 創意工夫を生かした歌唱表現するために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の内い方法などの技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 音色、旋律を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて表現意図をもち、 【学びに向かう力、人間性等】 正しい発声を身に付けて表現を創意工夫することに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	4
2 学 期	「さまざまな器楽アンサンブルを楽しむ」 ギター、ピアノ、弾き語りを通し様々な音色の重なりを工夫する。	弾き語りの伴奏を創作し発表 一人一台端末活用	○	○	○	【知識及び技能】 文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 【学びに向かう力、人間性等】 さまざまな音や音楽に関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	「音楽を形づくっている要素に注目して、曲のよさや美しさを探ろう」 さまざまな楽器が生み出す響きやその特徴が、どのような要素やそれらの働きによってもたらされているのかを探るとともに、音楽のよさや美しさを味わう	「西洋音楽の流れ」 / 「オーケストラを知ろう」一人一台端末活用			○	【知識及び技能】 文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 【学びに向かう力、人間性等】 さまざまな音や音楽に関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	「表現を工夫してヴォイスアンサンブルをしよう」 バランスのよい姿勢、呼吸の仕方、声の響かせ方を身につけ、曲想と歌詞との関わり、旋律の特徴、言葉の抑揚を理解し、自己のイメージをもって表現を創意工夫して歌う。	生徒選曲の楽曲を使用したアカペラヴォイスアンサンブルの発表。一人一台端末活用	○			【知識及び技能】 曲想と歌詞との関わりについて理解している。 創意工夫を生かした歌唱表現するために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の内い方法などの技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 音色、旋律を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて表現意図をもち、 【学びに向かう力、人間性等】 正しい発声を身に付けて表現を創意工夫することに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	「作曲家の生涯と作品をたどろう」 J.S.バッハやW.A.モーツァルトの生涯をたどりながら、それぞれの作品の特徴を理解し、魅力を味わう	作品を鑑賞したり、作曲家について調べたり、意見を交換したりしながら、曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりを理解する曲や演奏に対する評価とその根拠を述べ合う			○	【知識及び技能】 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 【学びに向かう力、人間性等】 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、	○	○	○	4

2 学 期	漢字の書(行書) 上記「漢字の書(行書)」参照	・指導事項 漢字の書(行書) 「蘭亭序」他 ・教材→教科書・書道用具 等	○	○	上記「漢字の書(行書)」参照	○	○	○	8
	篆刻 【知識及び技能】 ・古典の書体や書風と用筆・運筆との関わり、篆刻の用具・用材の特徴と表現効果との関わりについて理解する。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解する。 ・篆書の古典の基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につける。 ・篆刻の技法を理解し、運刀の基礎を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・篆刻の技法を学び、意図に基づいて表現を構想し工夫する。 ・生活や社会における書の効用について考え、書を立体化することによる刻線のよさや美しさを味わって捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。	・指導事項 漢字の書(篆書) 「泰山刻石」 篆刻 ・教材→教科書・書道用具 等	○	○	【知識・技能】 ●知識 共通事項 [表現] 古典の書体や書風と用筆・運筆との関わり、篆刻の用具・用材の特徴と表現効果との関わりについて理解している。 [鑑賞] 線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。 ●技能 篆書の古典の基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけている。 篆刻の技法を理解し、運刀の基礎を身につけている。 【思考・判断・表現】 [表現] 篆刻の技法を学び、意図に基づいて表現を構想し工夫している。 [鑑賞] 生活や社会における書の効用について考え、書を立体化することによる刻線のよさや美しさを味わって捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 [表現] 主体的に篆刻の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 [鑑賞] 主体的に篆刻の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	9
	仮名の書 【知識及び技能】 ・線質や書風と用筆・運筆との関わり、用具・用材の特徴と表現効果との関わりについて理解する。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書の伝統と文化、仮名の成立、書の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解する。 ・仮名の古筆に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質や字形を生かした表現をするための技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・仮名の古筆や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。 ・仮名の古筆の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。	・指導事項 仮名の基本 「蓬莱切」他 ・教材→教科書・書道用具 等	○	○	【知識・技能】 ●知識 共通事項 [表現] 線質や書風と用筆・運筆との関わり、用具・用材の特徴と表現効果との関わりについて理解している。 [鑑賞] 線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書の伝統と文化、仮名の成立、書の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解している。 ●技能 仮名の古筆に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質や字形を生かした表現をするための技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 [表現] 仮名の古筆や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 [鑑賞] 仮名の古筆の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 [表現] 主体的に仮名の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 [鑑賞] 主体的に仮名の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	9
3 学 期	漢字仮名交じり書・くらしの中の書 【知識及び技能】 ・用具・用材の特徴と表現効果との関わり、名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解する。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、漢字仮名交じり文の成立について理解する。 ・目的や用途に即した効果的な表現、漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫する。 ・創造された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。	・指導事項 漢字仮名交じり書 くらしの中の書 ・教材→教科書・書道用具 等	○	○	【知識・技能】 ●知識 共通事項 [表現] 用具・用材の特徴と表現効果との関わり、名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。 [鑑賞] 線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、漢字仮名交じり文の成立について理解している。 ●技能 目的や用途に即した効果的な表現、漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 [表現] 漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫している。 [鑑賞] 創造された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 [表現] 主体的に漢字仮名交じりの書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 [鑑賞] 主体的に漢字仮名交じりの書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	漢字の書(楷書) 上記「漢字の書(楷書)」参照	・指導事項 漢字の書(楷書) 「自書告身」他 ・教材→教科書・書道用具 等	○	○	上記「漢字の書(楷書)」参照	○	○	○	12
									合計
									70

【共通事項】

- ・用筆・運筆から生み出される書の表現性とその表現効果との関わりについて理解している。
- ・書を構成する要素について、それら相互の関連がもたらす働きと関わらせて理解している。

高等学校 令和5年度（1学年用）教科

外国語

科目 English Communication I

教科： 外国語 科目： English Communication I

単位数： 3 単位

対象学年組： 第 1 学年 A 組～ F 組

教科担当者：

使用教科書： (BIG DIPPER English Communication I)

教科 外国語 の目標：

- 【知識及び技能】 実際の英語コミュニケーションにおいて、目的、場面、状況に応じて適切に活用できる技能を習得する。
- 【思考力、判断力、表現力等】 日常的话题や社会的な話題について、その情報や考えなどの概要や要点を的確に理解し、適切に表現したり伝え合ったりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 英語の背景にある文化への理解を深め、主体的、自立的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 English Communication I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・日常的话题について必要な情報を聞き取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。 ・日常的话题について必要な情報を聞き取り、書き手の意図を把握することができるようにする。 ・日常的话题について、対話の展開などにおいて基本的な語句や文を用いて、情報や考え気持などを話して伝えることができるようにする。	・英語の基礎的な知識や技能を最大限活用しながら、思考力・判断力・表現力を土台にコミュニケーション能力の養成を図る。	・グローバル社会の中で必要とされる国際理解での広い視野を養う。 ・主体的な深い学びを促進し、生徒自らが学びに向かう力を育成する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	記 時 数
			聞	読	話 （ や ）	話 （ 免 ）	書					
1 学 期	Lesson 1 Have a Good Day with a Good Breakfast (朝食の大切さ) ・各Partの本文の内容を読み、概要や要点を把握することができる。 ・本文の内容(朝食の重要性など)について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話す/書くことができる。	【題材】 健康・学校生活 【文法項目】 過去形・現在形・未来表現・現在完了形・現在進行形・命令文 【教材】 本文音声教材CD 一人1台端末の活用						【知識及び技能】 時制を理解している 【思考力、判断力、表現力等】 朝食についての自分の考えを表現できる 【主体的な学び】 自ら自主的に課題に取り組む姿勢がある				6
	Lesson 2 A Mascot with a Mission (町おこしのキャラクターの役割) ・各Partの本文の内容を読み、概要や要点を把握することができる。 ・本文の内容(ご当地マスコット(ゆるキャラ)の役割など)について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話す/書くことができる。	【題材】 社会・日本文化 【文法項目】 不定詞・文型(SVC・SVO) 【教材】 本文音声教材CD 一人1台端末の活用						【知識及び技能】 不定詞、文型を理解している 【思考力、判断力、表現力等】 ゆるキャラについての自分の考えを表現できる 【主体的な学び】 自ら自主的に課題に取り組む姿勢がある				7
	Lesson 3 Two Kinds of Leadership (2つのタイプのリーダーシップ) ・各Partの本文の内容を読み、概要や要点を把握することができる。 ・本文の内容(リーダーシップ)について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話す/書くことができる。	【題材】 心理・社会 【文法項目】 受動態・関係代名詞・文型(SVOC・SVOC) 【教材】 本文音声教材CD 一人1台端末の活用						【知識及び技能】 受動態・関係詞を理解している 【思考力、判断力、表現力等】 リーダーシップについての自分の考えを表現できる 【主体的な学び】 自ら自主的に課題に取り組む姿勢がある				7
	Lesson 4 Older Sports and Newer Sports (新旧いろいろなスポーツの歴史と魅力) ・各Partの本文の内容を読み、概要や要点を把握することができる。 ・本文の内容(スポーツの歴史と魅力)について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話す/書くことができる。	【題材】 スポーツ・歴史 【文法項目】 比較表現 【教材】 本文音声教材CD 一人1台端末の活用						【知識及び技能】 比較表現を理解している 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツについての自分の考えを表現できる 【主体的な学び】 自ら自主的に課題に取り組む姿勢がある				7
2 学 期	Lesson 5 All Meets the Arts (芸術の世界まで進出するAI 人工知能) ・各Partの本文の内容を読み、概要や要点を把握することができる。 ・本文の内容(AI)について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話す/書くことができる。	【題材】 科学技術・芸術 【文法項目】 名詞を修飾する分詞・形式主語 【教材】 本文音声教材CD 一人1台端末の活用						【知識及び技能】 分詞形式主語を理解している 【思考力、判断力、表現力等】 AIについての自分の考えを表現できる 【主体的な学び】 自ら自主的に課題に取り組む姿勢がある				7
	Lesson 6 What Is Happiness? (世界の人の「幸福度」の違い) ・各Partの本文の内容を読み、概要や要点を把握することができる。 ・本文の内容(幸福度)について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話す/書くことができる。	【題材】 異文化理解・心理 【文法項目】 過去完了形・関係副詞 【教材】 本文音声教材CD 一人1台端末の活用						【知識及び技能】 過去完了形を理解している 【思考力、判断力、表現力等】 幸福度についての自分の考えを表現できる 【主体的な学び】 自ら自主的に課題に取り組む姿勢がある				7
	Lesson 7 The Maldives: A Dream Destination? (人気の観光地が抱える問題) ・各Partの本文の内容を読み、概要や要点を把握することができる。 ・本文の内容(観光地の問題)について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話す/書くことができる。	【題材】 環境・経済 【文法項目】 知覚動詞・使役動詞・SVO+不定詞 【教材】 本文音声教材CD 一人1台端末の活用						【知識及び技能】 知覚動詞、使役動詞を理解している 【思考力、判断力、表現力等】 観光地の問題についての自分の考えを表現できる 【主体的な学び】 自ら自主的に課題に取り組む姿勢がある				7
	Lesson 8 Kazu Hiro: In Pursuit of a Dream (世界的な特殊メイクアップアーティストKazu Hiro) ・各Partの本文の内容を読み、概要や要点を把握することができる。 ・本文の内容(特殊メイク)について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話す/書くことができる。	【題材】 人物・文化 【文法項目】 関係副詞・関係代名詞・強調構文 【教材】 本文音声教材CD 一人1台端末の活用						【知識及び技能】 関係詞、強調構文を理解している 【思考力、判断力、表現力等】 メイクアップアーティストについての自分の考えを表現できる 【主体的な学び】 自ら自主的に課題に取り組む姿勢がある				7
3 学 期	Lesson 9 From Recycle to Upcycle (ゴミの再利用の新しい形「アップサイクル」) ・各Partの本文の内容を読み、概要や要点を把握することができる。 ・本文の内容(ゴミリサイクル)について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話す/書くことができる。	【題材】 環境・生活 【文法項目】 つなぎ表現・分詞構文・間接疑問文・現在完了進行形 【教材】 本文音声教材CD 一人1台端末の活用						【知識及び技能】 分詞構文、間接疑問文を理解している 【思考力、判断力、表現力等】 ゴミリサイクルについての自分の考えを表現できる 【主体的な学び】 自ら自主的に課題に取り組む姿勢がある				7
	Lesson 10 Diversity at Japanese Companies (日本の会社における雇用の多様性) ・各Partの本文の内容を読み、概要や要点を把握することができる。 ・本文の内容(雇用の多様性)について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話す/書くことができる。	【題材】 平等・労働 【文法項目】 仮定法過去・分詞構文・過去の習慣を表す助動詞 【教材】 本文音声教材CD 一人1台端末の活用						【知識及び技能】 仮定法を理解している 【思考力、判断力、表現力等】 日本の雇用形態についての自分の考えを表現できる 【主体的な学び】 自ら自主的に課題に取り組む姿勢がある				8

教科： 外国語

科目： 論理・表現 I

単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ F 組

教科担当者：

使用教科書：（ be English Logic and Expression I Smart（いづな書店） ）

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】	外国語の音声や語彙・表現、文法、言語の働きなどについて理解を深める力を養う。またそれらを、4技能による実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につける力を養う。
【思考力、判断力、表現力等】	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝えたりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする力を養う。

科目 論理・表現 I の目標： 養い、論理の展開や表現の方法を工夫し、伝える能力を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語の特徴やきまりに関する事項、対話の展開の仕方や論理構成について理解できる。実際のコミュニケーションにおいて、多くの支援を活用すれば、日常的な話題や社会的な話題について、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うことができる。また聞いたり読んだりしたことを活用しながら、意見や主張などを論理構成や展開を工夫して話して伝える技能を養う。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを基本的な語句や文を用いて、論理の構成や展開を工夫して書いて伝えることができる。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを基本的な語句や文を用いて、論理の構成や展開を工夫して書いて伝えることができる。外国語の背景にある文化に対する理解を深め、読み手に配慮しながら主体的に英語の4技能を用いて伝える力を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
		聞	読	「 や 話 」	発 話	書						
1 学 期	【単元】 ①Lesson 1「Meeting People」 ②Lesson 2「Holidays and Weekends」	【題材】 ①自己紹介 ②休日・週末 【材料】 ①現在形 ②過去形 【言語活動】 ①あいづちで関心を示す。 ②相手の発言を聞き直す。	○	○	○	○	○	<知・技> 【材料】で取り上げた文法の意味や働きを理解し適切に用い、【題材】のテーマについて伝え合う技能を身につける。 <思・判・表> 【題材】等についての情報を、論理的に詳しく伝えられる。 <主体> 【題材】等についての情報を論理的に詳しく伝え合い、自分の発言を振り返り改善する。	○	○	○	6
	【単元】 ①Lesson 3「Making Plans」 ②Lesson 4「Travel」	【題材】 ①予定 ②旅行 【材料】 ①未来表現 ②現在完了形 【言語活動】 ①情報を尋ねる。 ②話を切り出す。	○	○	○	○	○	<知・技> 【材料】で取り上げた文法の意味や働きを理解し適切に用い、【題材】のテーマについて伝え合う技能を身につける。 <思・判・表> 【題材】等についての情報を、論理的に詳しく伝えられる。 <主体> 【題材】等についての情報を論理的に詳しく伝え合い、自分の発言を振り返り改善する。	○	○	○	6
	【単元】 ①Lesson 5「Study and activities」 ②Lesson 6「Food」	【題材】 ①学習・課外活動 ②食べ物 【材料】 ①過去完了形 ②助動詞1 【言語活動】 ①相手に同意を求める。 ②お礼を言う。	○	○	○	○	○	<知・技> 【材料】で取り上げた文法の意味や働きを理解し適切に用い、【題材】のテーマについて伝え合う技能を身につける。 <思・判・表> 【題材】等についての情報を、論理的に詳しく伝えられる。 <主体> 【題材】等についての情報を論理的に詳しく伝え合い、自分の発言を振り返り改善する。	○	○	○	6
2 学 期	【単元】 ①Lesson 7「School life」 ②Lesson 8「Daily life」 ③Lesson 9「Transportation issues」 ④スピーチをしてみよう！	【題材】 ①学校生活 ②日常生活 ③交通機関の問題 【材料】 ①助動詞2 ②助動詞3 ③受動態 【言語活動】 ①理由を尋ねる。 ②依頼を受け入れる・断る。 ③話しかける。	○	○	○	○	○	<知・技> 【材料】で取り上げた文法の意味や働きを理解し適切に用い、【題材】のテーマについて伝え合う技能を身につける。 <思・判・表> 【題材】等についての情報を、論理的に詳しく伝えられる。 <主体> 【題材】等についての情報を論理的に詳しく伝え合い、自分の発言を振り返り改善する。	○	○	○	10
	【単元】 ①Lesson 10「The future」 ②Lesson 11「Staying healthy」 ③Lesson 12「New products」	【題材】 ①将来したいこと ②健康 ③新しい製品 【材料】 ①不定詞1 ②不定詞2 ③不定詞3 【言語活動】 ①励ます。 ②具合を尋ねる。 ③勧誘する。	○	○	○	○	○	<知・技> 【材料】で取り上げた文法の意味や働きを理解し適切に用い、【題材】のテーマについて伝え合う技能を身につける。 <思・判・表> 【題材】等についての情報を、論理的に詳しく伝えられる。 <主体> 【題材】等についての情報を論理的に詳しく伝え合い、自分の発言を振り返り改善する。	○	○	○	12
3 学 期	【単元】 ①Lesson 13「Hobbies and Interests」 ②Lesson 14「The World of Nature」 ③Lesson 15「Trouble and Accidents」 ④「パラグラフを書いてみよう」	【題材】 ①趣味・関心 ②自然 ③トラブル・事故 【材料】 ①動名詞 ②分詞1 ③分詞2 【言語活動】 ①同じだと言う。 ②感情を表す。 ③同情・共感を表す。	○	○	○	○	○	<知・技> 【材料】で取り上げた文法の意味や働きを理解し適切に用い、【題材】のテーマについて伝え合う技能を身につける。 <思・判・表> 【題材】等についての情報を、論理的に詳しく伝えられる。 <主体> 【題材】等についての情報を論理的に詳しく伝え合い、自分の発言を振り返り改善する。	○	○	○	16
												合計

教科 : 情報 科目 : 情報 I

対象学年組 : 第1学年A組~F組

教科担当 :

使用教科書 : 数研出版『高等学校 情報 I』

教科 情報の目標

- 【知識及び技能】 知識の習得や知識の概念的な理解, 情報機器の操作の基本的な技術の習得する。
- 【思考力, 判断力, 表現力等】 習得した「知識・技能」を活用して課題を解決できる思考力・判断力・表現力などを身に付ける。
- 【学びに向かう力, 人間性等】 知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身につける過程において, 粘り強く学習に取り組み, 自ら学習を調整する姿勢を養う。

科目 情報 I の目標

【知識及び技能】	【思考力, 判断力, 表現力等】	【学びに向かう力, 人間性等】
「情報」がもつ意味や働きについて理解し、情報を評価・判断するための技能を身に付ける。また、様々なメディアの特徴や、情報の適切な表現形式について理解させ、情報通信ネットワークなどを適切に活用して、問題を解決する方法を習得させる。	情報ももつ意味や働きについて考え、情報の価値や信頼性・検証について判断し、適切に表現する。また、問題解決のプロセスについて考え、科学的な根拠による判断ができるようデータを分析し、得られた結果について考察する。	情報ももつ意味や働きについて関心を持ち、適切に活用する態度や問題解決やその方法について関心を持ち、情報機器による問題解決を主体的に図っていく態度を養う。

学期	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A 情報社会の問題解決 (1)「知識及び技能」 ・「情報」がもつ意味や働きについて理解する。 ・情報を評価・判断するための技能を身に付ける。 ・基本的な文書作成を行う。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 ・「情報」がもつ意味や働きについて考え、その結果を適切に表現する。 (3)「学びに向かう力, 人間性等」 ・「情報」がもつ意味や働きについて関心を持つ。	・情報とは何か ・情報源と情報の検証 ・情報とメディアの特性 ・問題解決のプロセス ・情報社会と法規・制度 ・情報社会と個人の権利 ・知的財産権 ・情報セキュリティ ・情報技術の発展の光と影 ・文書の作成 ・表の編集 ・画像や図形を活用した文書の作成	(1)「知識及び技能」 ・「情報」がもつ意味や働きについて理解している。 ・情報を評価・判断するための技能を身に付けている。 ・基本的な文書作成ができる。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 ・「情報」がもつ意味や働きについて考え、その結果を適切に表現できている。 (3)「学びに向かう力, 人間性等」 ・「情報」がもつ意味や働きについて関心を持っている。	○	○	○	14
	B コミュニケーションと情報デザイン (1)「知識及び技能」 ・アナログ情報とデジタル情報のちがいについて理解する。 ・デジタル情報の特徴について理解する。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 ・アナログ情報とデジタル情報のちがいについて考え、適切に判断する。 ・デジタル情報の特徴や利点について考え、その結果を適切に表現する。 (3)「学びに向かう力, 人間性等」 ・アナログ情報とデジタル情報のちがいや特徴について関心を持つ。	・アナログとデジタル ・デジタル情報の表現 ・文字のデジタル表現 ・音のデジタル表現 ・画像のデジタル表現 ・動画のデジタル表現 ・データの圧縮・通信とその進展 ・マスメッセージの進展 ・情報の発信とメディアの性質 ・情報を表現する方法 ・ユニバーサルデザイン ・プレゼンテーションとは ・プレゼンテーションの流れと注意点	(1)「知識及び技能」 ・アナログ情報とデジタル情報の違いについて理解できる。 ・デジタル情報の特徴について理解している。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 ・アナログ情報とデジタル情報のちがいについて考え、適切に判断できる。 ・デジタル情報の特徴や利点について考え、その結果を適切に表現できる。 (3)「学びに向かう力, 人間性等」 ・アナログ情報とデジタル情報のちがいや特徴について関心を持っている。	○	○	○	16
2 学期	C コンピュータとプログラミング (1)「知識及び技能」 ・コンピュータの基本的な構成について理解し、基本的な操作ができる技能を身に付ける。 ・コンピュータ本体の働きや補助記憶装置の種類や特徴などについて理解する。 ・表計算ソフトの基本的な操作を習得する。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 ・コンピュータの中のCPUやメモリ、補助記憶装置の役割について考える。 ・コンピュータの能力を適切に判断する。 (3)「学びに向かう力, 人間性等」 ・コンピュータの本体や周辺装置に関心を持ち、積極的に活用する。	・コンピュータの構成 ・コンピュータのソフトウェア ・コンピュータでの数値の内部表現 ・アルゴリズム ・プログラミング言語とは ・プログラミングの方法 ・モデル化 ・シミュレーション ・基本的なワークシート編集 ・関数を使った計算式 ・グラフの作成 ・条件判定と順位付け	(1)「知識及び技能」 ・コンピュータの基本的な構成について理解し、基本的な操作ができる技能を身に付けている。 ・コンピュータ本体の働きや補助記憶装置の種類や特徴などについて理解している。 ・表計算ソフトの基本的な操作を習得している。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 ・コンピュータの中のCPUやメモリ、補助記憶装置の役割について考えている。 ・コンピュータの能力を適切に判断できる。 (3)「学びに向かう力, 人間性等」 ・コンピュータの本体や周辺装置に関心を持ち、積極的に活用しようとしている。	○	○	○	14
	D 情報通信ネットワークとデータの活用 (1)「知識及び技能」 ・LAN, WAN, インターネットの構造, モバイル通信などに関する知識を身に付ける。 ・データベースの特徴や機能について理解する。 ・プレゼンテーションソフトの基本的な操作を習得する。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 ・LANやインターネットなどのコンピュータによる通信とその影響について考える。 ・データベースの働きや必要性について考察し、その結果を適切に表現する。 (3)「学びに向かう力, 人間性等」 ・LANやインターネットなどのコンピュータによる通信とその影響について考える。 ・データベースを利用することで、どのようなことが可能になるのかに関心を持つ。	・コンピュータネットワーク ・通信プロトコル ・パケット通信 ・通信の信頼性 ・IPアドレスとドメイン名 ・WWWのしくみとURL ・電子メールの送受信のしくみ ・情報の暗号化 ・データベース ・さまざまな情報システム ・データのさまざまな形式 ・データの収集方法 ・データの種類と尺度水準 ・データの分析 ・テキストマイニング ・プレゼンテーションの作成 ・スライドショーと資料作成	(1)「知識及び技能」 ・LAN, WAN, インターネットの構造, モバイル通信などに関する知識を身に付けている。 ・データベースの特徴や機能について理解している。 ・プレゼンテーションソフトの基本的な操作を習得している。 (2)「思考力・判断力・表現力等」 ・LANやインターネットなどのコンピュータによる通信とその影響について考えている。 ・データベースの働きや必要性について考察し、その結果を適切に表現している。 (3)「学びに向かう力, 人間性等」 ・LANやインターネットなどのコンピュータによる通信とその影響について考えている。 ・データベースを利用することで、どのようなことが可能になるのかに関心を持っている。	○	○	○	16